

煙突屋ペロー (1930)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1930/04/13

公開情報 深田商会

【解説】

1930年に、京都のアマチュア映画グループ・童映社が製作した全23分の影絵アニメーション。

トム・タム国に住む、煙突掃除人のペロー少年。彼は驚から鳩を救い、その鳩からお礼に「兵隊の出る卵」を貰う。だがペローは帰国した王子の汽車を弾みで壊し、死刑を宣告された。そのとき、戦争が勃発。ペローは「兵隊の出る卵」を使って殊勲を挙げ、罪を許されて英雄になった。しかし釈放されて故郷に帰る途上で彼が見たもの、それは戦禍に荒廃した町の姿だった……。

当時の日本の主戦論拡大を背景に、反戦メッセージを込めて作られた作品で、童映社の影絵アニメとしては3作目にあたる。本作は1986年にそれまで行方不明だったフィルムが発見されるものの、当時の内務省の検閲によるものか後半4分の1が喪失。その喪失部分をシネマ・ワークとグループ・タックが復元して、さらに全編をトーキー作品へと作り直したものが現在のバージョンである。

【クレジット】

演出 田中喜次

プロデュース 伊藤正昭

原作 田中喜次

脚本 田中喜次

撮影 舟木俊一